

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
専門学校ルネサンス・ベット・アカデミー	平成21年3月25日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																				
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	動物看護・理学療法科	平成27年文部科学省告示 号外第36号	-																				
学科の目的	One Healthの理念のもと、動物の命を守る事で、人々の命と社会生活を守る動物看護師を育成する。																							
認定年月日	平成26年3月31日																							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																	
	3年	3540時間	1371時間	0時間	2169時間	0時間	0時間																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
120人	72人	0人	3人	19人	22人																			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																			
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級条件		卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業 ほか ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 動物病院		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (3年制課程移行2年目のため、平成28年度2年生に関する平成29年5月1日時点の情報)																			
	■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動物看護師統一認定機構認定動物看護師</td> <td>③</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>19</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>電話検定A</td> <td>③</td> <td>19</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	動物看護師統一認定機構認定動物看護師	③	19	19	愛玩動物飼養管理士2級	③	19	19	サービス接遇検定	③	19	15	電話検定A
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																					
動物看護師統一認定機構認定動物看護師	③	19	19																					
愛玩動物飼養管理士2級	③	19	19																					
サービス接遇検定	③	19	15																					
電話検定A	③	19	15																					
■卒業者数: - 人 ■就職希望者数: - 人 ■就職者数: - 人 ■就職率: - % ■卒業者に占める就職者の割合: - %		■その他: - % 3年制課程移行2年目のため平成28年度卒業生はなし		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)				■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																				
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中途退学率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者43名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者43名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由		■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2016年10月12日実施																							
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/care/																							

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月26日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
田中 克己	学校法人爽青会 顧問	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
木俣 新	木俣動物病院 院長/専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 顧問	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
藤田 暁世	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
水嶋 八千代	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
早房 陽	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
松村 綾美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
石橋 祐衣	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
長瀬 加津也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
柘植 沙織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
山口 光子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
吉村 徳裕	あいち動物病院 院長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
根岸 香緒里	日本動物高度医療センター 看護師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
横田 友子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム課長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
飯田 奈美子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム係長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
神宮 和晃	ドッグサロン ソルト&ベッパ 代表	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
今西 孝一	国際動物専門学校 部長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	②
島田 真衣	グリーンドッグ グルーミング 統括マネージャー	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
左向 敏紀	日本ペット栄養学会 会長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	①
千葉 路子	ジャパン・ケイナイン・ハイドロセラピー協会 代表	2017/4/1～2018/3/31(1年)	①
齋藤 富士雄	豊橋総合動植物公園 アドバイザー	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
加藤 修	浜名湖体験学習施設ウオット 館長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は8月および1月の年2回開催する。

(開催日時)

第1回 平成28年8月22日 13:30～15:50

第2回 平成29年1月24日 12:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

1・2年次に講義が集中し、実際に実習を行う時間が減少傾向にある。これを改善し、実習時間の増加に加えて、1年次より動物看護師のキャリアプランの作成に着手するようカリキュラム編成を行う。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する

- ・One Healthの理念のもと、動物の命を守る事で、人々の命と社会生活を守る動物看護師を育成する。
- ・臨床現場で必要とされる看護技術および症例検討を重視する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

主に獣医師と連携して、動物病院における検査、手術等の実技指導から、バイタルサインや栄養学等知識習得の授業を実施。普段の授業に対する積極性と、期末に実施する筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
外科動物看護実習	動物看護における手順や要領を考慮し、問題解決による看護が実践出来る。	木俣動物病院 だて動物病院
臨床検査実習Ⅱ	臨床検査における手順や要領を考慮し、問題解決による看護が実践出来る。	アサギ動物病院 井口動物病院
動物疾病看護学Ⅰ	犬猫のバイタルサインと病的変化、基礎的な疾患を理解できる。	澤柳犬猫病院
動物栄養学Ⅰ	基礎栄養素及び犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的知識や適切な食餌管理についてアドバイスできる。	片浜動物病院
院内コミュニケーションⅠB	社会人としての常識を身に付けるとともに、サービス接遇検定資格を取得する。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。			
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・学会視察派遣(日本臨床獣医学フォーラム) 2017年9月15-16日に行われた日本臨床獣医学会主催の日本臨床獣医学フォーラムに参加。エキゾチックアニマルの保定方法、眼科に関する検査方法および治療方法への動物看護師の関わり方についての学科を聴講。看護実習ならびに保定実習に取り入れ、最新の技術指導を行った。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森谷浩志様) 2017年6月3日～2018年2月23日まで全9回に渡り、係長・主任を対象に実施。対話と内省を基本に、クラス運営から組織の中での役割まで、どのようにリーダーシップを発揮すればより良い運営が出来るかをワークショップを交えながら学んだ。			
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・海外授業派遣(ロンドン) 2018年12月上旬に行われる海外授業にて、イギリスロンドンへの渡航を予定。ヨーロッパ最高峰の癌専門動物病院であるFITZPATRICKにて、専門動物看護師の存在と仕事内容を確認する。今後日本で起こりうる動物看護師の専門化に向けての知見を広げる。また、RSPCA(世界最初の動物愛護団体)にて、動物愛護に対する日本との違いを確認し、日本の動物愛護をどう考えていくべきか模索する。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修) 新任教職員に対して、以下の様々な研修を行う。①専門学校の社会的な役割や本校の教育理念、②学生に対する授業方法、③模擬授業を通じた指導力の向上、④クラス運営における学生のカウンセリングや就職指導方法論、などを予定している。			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、校内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標		
(2) 学校運営	2 学校運営		
(3) 教育活動	3 教育活動		
(4) 学修成果	4 学修成果		
(5) 学生支援	5 学生支援		
(6) 教育環境	6 教育環境		
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集		
(8) 財務	9 財務		
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム		
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)		
※(10)及び(11)については任意記載。 (3) 学校関係者評価結果の活用状況 ・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を次年度の学校運営にすぐに反映できるように体制に変更した ・実例として、「学科のカリキュラムは体系的に編成しているが、整理が必要」との意見から、カリキュラムマップを作成し完成した (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
安倍 徹	アン・ランゲージ・スクール 校長/元静岡県教育長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校運営協力 企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience)Shizuoka 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等の委員
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームページ URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/information/">https://www.rap.ac.jp/information/</a> 公開時期:3月末を目途に公表			
5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)		
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)		
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)		
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)		
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)		
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)		
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)		
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)		
(10) 国際連携の状況	-		
(11) その他	-		
※(10)及び(11)については任意記載。 (3) 情報提供方法 ホームページにて情報提供 URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/">https://www.rap.ac.jp/</a>			

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）動物看護・理学療法科 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物機能形態学Ⅰ	犬猫の動物の身体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系の機能を理解できる。	1通	66		○			○		○		
○			動物疾病看護学Ⅰ	犬猫のバイタルサインと病的変化、基礎的な疾患を理解できる。	1通	66		○			○			○	○
○			動物感染症学	内部寄生虫、外部寄生虫について、分類と予防ができる。	1通	66		○			○			○	
○			飼養管理士総論	獣医療現場及び動物関連の法規について理解を深めると共に、個体に合った適正飼育を飼主に指導できる。	1通	66		○			○			○	
○			動物栄養学Ⅰ	基礎栄養素及び犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的知識や適切な食餌管理についてアドバイスできる。	1通	45		○			○				○
○			総合臨床実習準備Ⅰ	総合臨床実習に望む学生として、安全に配慮した基礎的な動物看護を実践できる。	1後	21				○	○			○	
○			公衆衛生学	犬猫の感染症、感染経路、予防法を理解し、健康増進、動物福祉、環境保全のアドバイスができる。	1通	33		○			○			○	
○			動物人間関係学Ⅰ	人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解できる。	1通	20		○			○			○	
○			動物行動学ⅠA	犬猫の種類による特徴を知り、基本的行動様式から正しいハンドリング及び基本的なしつけを理解し、看護と飼主指導ができる。	1通	33		○			○			○	
○			動物行動学ⅠB	動物種による基本的動作や特徴を理解し、安全に飼育できる。	1前	24		○			○			○	
○			動物福祉論Ⅰ	動物関連施設における実習を通し、動物関連の様々な職種を理解できる。	特別	20		○			○				○
○			動物飼育学Ⅰ	犬猫と比較し、エキゾチックアニマルの生理・生体の違いから適正な飼育ができる。	1通	33		○			○			○	
○			動物看護学	動物看護倫理と、動物看護における業務指針を理解し、適性な看護を実践できる。	1前	15		○			○			○	
○			動物看護実務Ⅰ	チーム医療に基づき、動物と飼い主に寄り添った基礎的な看護を実践できる。	1通	33		○			○			○	
○			動物臨床検査学	検体を用いる検査と生体検査の目的と意義を理解し、基礎的な検査を正しく実践できる。	1前	12		○			○			○	
○			コンピュータ実習Ⅰ	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用出来る。	1通	66				○	○				○
○			クライアントエデュケーションⅠ	社会人として必要な習慣を学んで体得し、人間力を高める。	1通	33		○			○				○
○			院内コミュニケーションⅠA	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	33				○	○			○	
○			院内コミュニケーションⅠB	社会人としての常識を身に付けるとともに、サービス接遇検定資格を取得する。	1通	66		○			○				○
○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	衛生管理、備品管理、基本的な動物のハンドリングを身に付け、トレーニングを実践できる。	1通	33				○	○			○	
○			動物飼育実習Ⅰ	実際に動物を世話することで動物看護に必要な適切な観察と動物福祉を実践できる。	1通	66				○	○			○	
○			保定実習Ⅰ	犬猫の扱いを知り、基本的な保定法と身体検査を実践できる。	1後	21				○	○			○	
○			グルーミング実習Ⅰ	個体に応じたグルーミングが安全に出来る。	1後	63				○	○				○
○			動物看護実習Ⅰ	看護知識の実践とし、診療現場に必要な基本的看護を実践できる。	1通	99				○	○			○	
○			臨床検査実習Ⅰ	検査知識の実践とし、診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し基本的な実践ができる。	1通	99				○	○			○	
○			院内環境整備Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	33				○	○			○	
○			入学前課題	犬種・犬体名称・骨格を学び、専門知識を学ぶ素地ができる。	特別	15				○	○			○	

○		修了研究	1年次に学んだ内容からテーマを探り、自ら研究・発表をするとともに、2年次の課題を見出すことができる。	1後	33				○	○		○			
○		動物機能形態学ⅡA	犬猫の免疫、神経及び感覚器系の機能、また、エキゾチックアニマルの身体の構造を理解できる。	2通	58			○		○					○
○		動物機能形態学ⅡB	実験動物、展示動物の社会的役割を理解すると同時に、生態系における野生動物や自然環境保護への関心が高まる。	2後	18			○		○					○
○		動物機能形態学ⅡC	産業動物の管理について入手、飼育法及び食品生産の仕組みを理解し、牧場での実習ができる。	2後	18			○		○					○
○		動物病理学Ⅱ	発病のメカニズムと病理学的特徴を理解できる。	2通	38			○		○					○
○		動物疾病看護学ⅡA	内科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解できる。	2通	49			○		○					○
○		動物看護疾病学ⅡB	外科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解できる。	2通	58			○		○					○
○		動物薬理学	薬の作用機序と有害作用並びに獣医療現場で使用される主な薬剤の特性を理解し、薬剤を正しい取扱いが出来る。	2通	37			○		○					○
○		動物栄養学Ⅱ	5大栄養素の役割を理解し、身体に作用する仕組みを理解し、適切なアドバイスができる。	2後	30			○		○					○
○		動物医療関係法規	主に獣医療現場及び動物関連の法の理念と目的を理解し、専門職として法律に遵守した看護を実践できる。	2後	18			○		○					○
○		動物繁殖学	犬猫の繁殖生理を理解し、性行動、避妊、去勢等の正しい助言ができる。	2前	16			○		○					○
○		動物人間関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	10			○		○					○
○		動物行動学Ⅱ	動物の学習理論を理解し、正しいしつけと問題行動解決へのアドバイスができる。	2後	18			○		○					○
○		動物福祉論Ⅱ	生命倫理を基本に、人と動物が共生するために必要な理念を身に付け、アドバイスできる。	2後	18			○		○					○
○		動物飼育学Ⅱ	エキゾチックアニマルの疾患とその看護を理解し、適切なアドバイスができる。	2後	18			○		○					○
○		総合臨床実習準備Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内定獲得につなげる。	2前	11			○		○					○
○		臨床動物看護学A	各疾患による動物の身体的・精神的状況や、飼い主の状況から適切な看護法を考察できる。	2通	29			○		○					○
○		臨床動物看護学B	動物看護過程を理解し、各疾患ごとの看護計画を立てる事ができる。	2通	61			○		○					○
○		コンピュータ実習Ⅱ	ExcelとPowerPointの使い方を理解し、実践的に使用できる。	2前	11					○	○				○
○		幼齢動物・高齢動物管理	新生子期から高齢期の管理を理解し、予防管理・看護・介護を在宅看護ができる。	2通	34			○		○					○
○		動物看護実務Ⅱ	入院動物の痛みの管理、入院や手術時における飼い主指導ができる。	2通	29			○		○					○
○		クライアントエデュケーションⅡA	人生の成功法則である7つの習慣を体系的に学び、公的成功習慣(第4～第6)を身に付ける。	2前	11			○		○					○
○		クライアントエデュケーションⅡB	社会人としての常識を身に付けるとともに、サービス接遇検定資格を取得する。	2前	11			○		○					○
○		院内コミュニケーションⅡA	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	29					○	○				○
○		ドッグトレーニング実習Ⅱ	しつけにおける手順や要領を考慮し、問題行動の解決法をアドバイスできる。	2通	29					○	○				○
○		動物飼育実習Ⅱ	動物の世話における実践力と応用力、また正確性と迅速性を後輩に指導できる。	2前	22					○	○				○
○		グルーミング実習Ⅱ	迅速性を身に付けると共に、日常のケア方法をアドバイスできる。	2前	44					○	○				○
○		院内環境整備Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	29					○	○				○
○		保定実習Ⅱ	処置や個体に適した保定が実践出来る。	2後	18					○	○				○
○		臨床検査実習Ⅱ	臨床検査における手順や要領を考慮し、問題解決による看護が実践出来る。	2通	107					○	○				○
○		理学療法実習	外科手術の流れと、動物の回復過程を理解し、外科手術後の動物管理ができる。	特別	46					○	○				○
○		外科動物看護実習Ⅱ	動物看護における手順や要領を考慮し、問題解決による看護が実践出来る。	2通	87					○	○				○
○		総合臨床実習	受付業務、院内コミュニケーション、診療補助等の臨床経験から、専門職としての知識を活かして技術を実践	特別	270					○					○
○		修了研究	2年間で学んだ内容からテーマを探り、論理的に研究・発表ができる。	2後	33					○	○				○

○		看護学特論Ⅲ	動物環境フィールドワークで学んだ大動物、野生動物、産業動物の現状を自分の知識としてまとめ上げ、世間へ知らせることが出来る。	3通	46	○		○	○		
○		動物看護実務Ⅲ	飼主が興味をひくPOP制作を学び、動物病院と飼い主のコミュニケーションツールを身に付ける事が出来る。	3前	22	○		○		○	
○		獣医療倫理学	1年次に学んだ動物看護師倫理綱領の理解を深め、現場で応用出来るようになる。	3後	24	○		○		○	
○		社会学・経営学・リーダー論	数年間勤務した想定の上で、後輩指導時に活かす後輩との接し方、人がついてくる話し方を学び、長期勤務を見据える事が出来る。	3後	24	○		○			○
○		心理学	人の心理学を学ぶ事で、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、勤務しやすい企業環境を作る事が出来る。	3通	23	○		○			○
○		動物環境フィールドワーク	学内では学ぶ事ができない大動物、野生動物、産業動物の現状を知り、動物看護師が出来る事を自ら模索する事が出来る。	3前	66			○		○	
○		外科動物看護実習Ⅲ	1年次、2年次で習得した看護知識・技術を反復練習によって向上させる事が出来る。	3通	46			○	○		○
○		グルーミング実習Ⅲ	シャンプー仕上げの技術を発展させ、病状に合わせたグルーミングを身に付ける事が出来る。	3通	138			○	○		○
○		【選択1】総合動物実習 グルーミング	AAVサロントリマー検定の資格を取得する事が出来る。	3通	138			○	○		○
○		【選択2】総合動物実習 行動学	1年次、2年次の基礎を発展させ、動物看護師が動物病院で必要となる動物の行動学を習得する事が出来る。	3通	69			○	○		○
○		【選択2-1】総合動物実習 トレーニング	1年次、2年次の基礎を発展させ、動物看護師が動物病院で必要となる動物のトレーニング方法を習得する事が出来る。	3通	69			○	○		○
○		【選択2-2】総合動物実習 高度医療	専門分野企業への就職に備えて、分野毎の特殊な看護技術を習得する事が出来る。	3通	69			○	○		○
○		ドッグトレーニング実習Ⅲ	犬の行動原理を学び、緊急時の犬の反応にも対応する事が出来る。	3後	24			○	○		○
○		保定実習Ⅲ	犬、猫に加えてエキゾチックアニマルの保定方法を身に付け、実践する事が出来る。	3後	12			○	○		○
○		院内コミュニケーションⅢA	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3通	23			○	○		○
○		院内環境整備Ⅲ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3通	23			○	○		○
○		クライアントエデュケーションⅢ	企業研究を通して、自分に必要な知識・技術を自覚した上で就職までの価値を見出す事が出来る。	3前	11	○			○		○
○		総合臨床実習	臨床の現場において、動物看護師の立ち位置、重要性、働き方を学び、就職後の自分の目標を見つける事が出来る。	3前	200			○	○		○
○		特別活動	各種セミナーや特別講座を通して、問題点や解決策を考え、自分の成長へとつなげることが出来る。	3後	18			○	○		○
○		実務実習	各就職先に合わせた知識・技術を向上し、即戦力となる事が出来る。	3後	150			○	○		○
○		卒業研究	2年間で学んだ内容からテーマを探り、論理的に専門性の高い研究・発表ができる。	3後	24			○	○		○
合計				79科目		3540単位時間( 単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	1期 4/1-8/31 2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	平成21年3月25日	中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	ペットエステ・トリミング科	平成27年文部科学省告示 号外第36号	-																			
学科の目的	飼い主様の要望を正確に表現できるトリミング技術を持ち、犬との共存社会に笑顔を提供できるドッグトリマーを育成する。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1940時間	248時間	0時間	1692時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
50人	31人	0人	2人	16人	18人																		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																		
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級 条件		卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業 ほか																		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) トリミングサロン・ペットショップ・動物病院		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス接遇検定 3級</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>Word文書処理技能認定試験3級</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	サービス接遇検定 3級	③	21	20	愛玩動物飼養管理士2級	③	21	20	Word文書処理技能認定試験3級	③	21	19
	資格・検定名	種別			受験者数	合格者数																	
サービス接遇検定 3級	③	21	20																				
愛玩動物飼養管理士2級	③	21	20																				
Word文書処理技能認定試験3級	③	21	19																				
■卒業者数 : 23 人 ■就職希望者数 : 23 人 ■就職者数 : 23 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : %		※種類の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																					
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 平成28年4月1日時点において、在学者38名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者37名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更		■中退率 2.6 %																				
経済的 支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2016年10月12日実施																						
当該学科の ホームページ URL	https://www.rap.ac.jp/trim/																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)  
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月26日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勲次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
田中 克己	学校法人爽青会 顧問	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
木俣 新	木俣動物病院 院長/専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 顧問	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
藤田 暁世	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
水嶋 八千代	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
早房 陽	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
松村 綾美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
石橋 祐衣	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
長瀬 加津也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
柘植 沙織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
山口 光子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
吉村 徳裕	あいち動物病院 院長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
根岸 香緒里	日本動物高度医療センター 看護師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
横田 友子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム課長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
飯田 奈美子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム係長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
神宮 和晃	ドッグサロンソルト&ペッパー 代表	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
今西 孝一	国際動物専門学校 部長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	②
島田 真衣	グリーンドッグ グルーミング統括マネージャー	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
左向 敏紀	日本ペット栄養学会 会長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	①
千葉 路子	ジャパン・ケイナイン・ハイドロセラピー協会 代表	2017/4/1～2018/3/31(1年)	①
齋藤 富士雄	豊橋総合動植物公園 アドバイザー	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
加藤 修	浜名湖体験学習施設ウオウト 館長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は8月および1月の年2回開催する。

(開催日時)

- 第1回 平成28年8月22日 13:30～15:50  
第2回 平成29年1月24日 12:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

トリミング技術の向上に加えて、飼い主様に選ばれるトリマーになるためには接客などコミュニケーション能力の向上が必要との意見から、トリミング実習にて一般犬飼い主様への対応にビジネス系講師を配置し、接遇面を強化した。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- 学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する
- ・飼い主様の要望を正確に表現できるトリミング技術を持ち、犬との共存社会に笑顔を提供できるドッグトリマーを育成する。
- ・ペットサロン、ペットショップ、動物病院各所で活躍するトリマーの「求められる技術知識」と「就職指導」を実施し、即戦力性の高い専門技術者を育成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーション力・接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付け、Word3級に合格する。	株式会社遠鉄システムサービス
トリマー接客技術	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学ぶ。	株式会社浜松ビジネススクール
ペットビジネスマナー	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、電話検定B級合格する。	株式会社浜松ビジネススクール
ペットショップ実務	ペットショップで接客を行い、販売業務を実践できる。	有限会社浜松ハイビジョン
トリミング実習	カットスタイルを学び、実際に犬にトリミングを実践できる。(一般犬実習接客時にビジネス系講師配置)	株式会社浜松ビジネススクール



3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。			
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・競技会視察(SAE主催第14回全国トリミング競技会) 2017年10月24日、東京武道館にて開催された第14回全国トリミング競技会に引率を兼ねて参加。全国から集まるトリマー(学生・一般)の技術を目の当たりにするとともに、プロによるデザインカットコンテストも視察することで、最新のトレンドや全国の学生のトリミングスキルを確認し、次年度授業内容をどう組み立てるかの材料とした。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森浩志様) 2017年6月3日～2018年2月23日まで全9回に渡り、係長・主任を対象に実施。対話と内省を基本に、クラス運営から組織の中での役割まで、どのようにリーダーシップを発揮すればより良い運営が出来るかをワークショップを交えながら学んだ。			
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・海外授業派遣(アメリカ) 2018年11月下旬に予定されている海外授業にて、アメリカサンディエゴへの渡航を予定。咬まれないトリミング、咬ませないトリミングとは何かをKM DOG CO経営者の中島おる先生、クリエイティブカラーをアンバー・レウィン先生より学ぶ。また、Humane Societyでサンディエゴ市民の動物愛護に対する考え方の原点を確認し、日本との大きな違いを認識する。日本でも実践出来ること、日本の文化に会わせて変化させながら実践していくことを直接感じることで、今後のトリミング業界のあり方を模索する。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修) 新任教職員に対して、以下の様々な研修を行う。① 専門学校の社会的な役割や本校の教育理念、② 学生に対する授業方法、③ 模擬授業を通じた指導力の向上、④ クラス運営における学生のカウンセリングや就職指導方法論、などを予定している。			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベツト・アカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標		
(2) 学校運営	2 学校運営		
(3) 教育活動	3 教育活動		
(4) 学修成果	4 学修成果		
(5) 学生支援	5 学生支援		
(6) 教育環境	6 教育環境		
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集		
(8) 財務	9 財務		
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム		
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況 ・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるように体制に変更した ・実例として、学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応について、情報の共有化も検討されたいとの意見から、毎週1時間、常勤講師とトリミング系非常勤講師で、その週にあった事故、問題点等の共有と解決策の検討の場を設けることで、担当外の授業で起こったトラブルについても共有出来る体制とした。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
安倍 徹	アン・ランゲージ・スクール 校長/元静岡県教育長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校運営協力企業委員
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等の委員
※委員の種類の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームページ URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/information/">https://www.rap.ac.jp/information/</a> 公開時期: 3月末を目途に公表			
5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)		
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)		
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)		
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)		
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)		
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)		
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)		
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)		
(10) 国際連携の状況	-		
(11) その他	-		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 情報提供方法 ホームページにて情報提供 URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/">https://www.rap.ac.jp/</a>			

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程 ペットエステ・トリミング科）平成29年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			人と動物の関係学Ⅰ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1通	15					○		○		
	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1通	54					○		○		
	○			犬猫の健康管理学Ⅰ	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解剖を学び、健康チェックを行う事が出来る。	1前	13					○		○		
	○			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1通	27					○		○		
	○			グルーミング実習Ⅰ	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1通	486					○	○			○
	○			動物看護実習Ⅰ	動物病院で行われている、健康診断、保定、消毒方法、検査を身に付ける。	1後	27					○	○		○	
	○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬への基本的なしつけを行いながら、その方法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身に付ける。	1通	27					○	○			○
	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1通	27					○	○		○	
	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(盲導犬センター・ペットサロン)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	特別	30					○	○		○	○
	○			ペットビジネスマナー	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、電話検定B級合格する。	1通	54					○			○	○
	○			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付け、Word3級に合格する。	1通	54					○	○			○
	○			清掃Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○			
	○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○			
	○			就職実務Ⅰ	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1後	16					○			○	
	○			人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	6					○			○	
	○			ペットショップ実務	ペットショップで接客を行い、販売業務を実践できる。	2後	11					○			○	○
	○			トリマー接客技術	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、サービス遭遇検定3級に合格する。	2通	21					○			○	○
	○			犬猫の健康管理学Ⅱ	犬猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について学び、正しいフリーディングを説明できる。	2通	21					○			○	
	○			トリミング実習	カットスタイルを学び、実際に犬にトリミングを実践できる。	2通	441					○	○			○
	○			ペットエステ実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を取得する。	2後	30					○	○			
	○			動物看護実習Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、電話対応、健康診断を身に付け実践できる。	2前	22					○	○			
	○			ドッグトレーニング実習Ⅱ	犬の行動から、精神面を推測し、トリミングを行う事が出来るようになる。	2通	21					○	○			
	○			動物飼育実習Ⅱ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)をとおして飼育方法を説明できる。	2前	21					○	○			
	○			インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととるべき姿を明確にする。	2前	200					○			○	○
	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(盲導犬センター・ペットサロン)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	特別	30					○	○		○	○
	○			海外授業	海外におけるトリミングのあり方を学び、日本流トリミングのあり方や将来を考える事が出来る。	2後	30					○			○	○
	○			清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21					○	○			
	○			挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21					○	○			
	○			実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。	2後	150					○	○			○
	○			就職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内定獲得につなげる。	2前	10					○			○	
合計						30科目		1940単位時間( 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	1期 4/1-8/31 2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校ルネサンス・ベットのアカデミー	平成21年3月25日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	ドッグトレーニング・ウェルネス科	平成29年文部科学省告示 号外第39号	-		
学科の目的	犬の飼い主に運動・食事・しつけを楽しく教え、犬との生活全般のアドバイスができるドッグライフコンシェルジュを育成する。					
認定年月日	平成26年3月31日					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技
	2年 昼間					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	46人	0人	2人	11人	13人	
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価		
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日	卒業・進級条件		卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施	課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業・ペット同伴イベントボランティア ほか ■サークル活動: 有		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 動物病院・ペットショップ・ドッグトレーニング施設	主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)		
	■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施					
■卒業業者数 : 27 人 ■就職希望者数 : 27 人 ■就職者数 : 27 人 ■就職率 : 100 % ■卒業業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : 100 %		資格・検定名		種	受験者数	合格者数
(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)		ペットフード販売士		③	26	20
		マナーハンドラーテスト		③	27	15
		愛玩動物飼養管理士2級		③	27	27
		Word文書処理技能認定試験3級		③	27	20
※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する るか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等						
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 ■中退率 2.2 % 平成28年4月1日時点において、在学者46名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者45名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 入学前の学校・学科理解の徹底					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2016年10月12日実施					
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/training/					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業業者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業業者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」とは、卒業業者数に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業業者に占める就職者の割合」とは、全卒業業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・就職後にこそ伸びしろのある「人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月26日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勤次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
田中 克己	学校法人爽青会 顧問	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
木俣 新	木俣動物病院 院長/専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 顧問	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
藤田 暁世	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
水嶋 八千代	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
早房 陽	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
松村 綾美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
石橋 祐衣	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
長瀬 加津也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
柘植 沙織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
山口 光子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1～2018/3/31(1年)	
吉村 徳裕	あいち動物病院 院長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
根岸 香緒里	日本動物高度医療センター 看護師	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
横田 友子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム課長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
飯田 奈美子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム係長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
神宮 和晃	ドッグサロン ソルト&ベッパ 代表	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
今西 孝一	国際動物専門学校 部長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	②
島田 真衣	グリーンドッグ グルーミング統括マネージャー	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
左向 敏紀	日本ペット栄養学会 会長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	①
千葉 路子	ジャパン・ケイナイン・ハイドロセラピー協会 代表	2017/4/1～2018/3/31(1年)	①
齋藤 富士雄	豊橋総合動植物公園 アドバイザー	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③
加藤 修	浜名湖体験学習施設ウオット 館長	2017/4/1～2018/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は8月および1月の年2回開催する。

(開催日時)

第1回 平成28年8月22日 13:30～15:50

第2回 平成29年1月24日 12:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

旅行業におけるペットのあり方として「ペットツーリズム」授業を新設。ペットフードの製造過程(工場)見学も視野が広がるとの意見により、海外授業において「ペットフード工場視察」を追加。今後に向けてはご意見を頂いた「運動分野」のカリキュラム・授業内容を強化予定。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する

- ・犬の飼い主に運動・食事・しつけを楽しむ教え、犬との生活全般のアドバイスができるドッグライフコンシェルジュを育成する
- ・資格検定対策授業を強化し合格率向上を図る

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

ウェルネス分野を幅広く学ぶことでペットショップ就職の希望者が増加している。ペットショップ経営者から、ペットショップにおけるアドバイス方法から商品説明、動物たちの飼育管理について学んでいる。豊富な知識を身に付けたことを確認するため、筆記試験による評価を実施している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
浜松市動物愛護教育センターボランティア実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する	浜松市動物愛護教育センター
ペットショップ学	ペットショップで販売されるフード・用品・熱帯魚について学び、ショップでの飼育・お客様へのアドバイスができるようになる	有限会社浜松ハイビジョン
ペットツーリズム	ペットとの生活に関わる施設を視察し、幅広い人と犬の暮らしの世界を理解し、ペットを連れた外出に、必要となる知識や技術、施設を理解し、飼い主へアドバイスができるようになる	ドッグリフレオッジ など

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。			
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・競技会視察(SAE主催第14回全国家庭犬訓練競技会) 2017年10月24日、東京武道館にて開催された第14回全国家庭犬訓練競技会に引率を兼ねて参加。全国から集まるドッグトレーナー(学生・一般)の技術を目の当たりにした。アイコンタクトや楽しくトレーニングをすること、適切な声かけ等、全国の学生・一般ドッグトレーナーの現状を確認し、次年度授業内容をどう組み立てるかの材料とした。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森浩志様) 2017年6月3日～2018年2月23日まで全9回に渡り、係長・主任を対象に実施。対話と内省を基本に、クラス運営から組織の中での役割まで、どのようにリーダーシップを発揮すればより良い運営が出来るかをワークショップを交えながら学んだ。			
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・海外授業派遣(アメリカ) 2018年11月下旬に予定されている海外授業にて、アメリカサンディエゴへの渡航を予定。Humane Societyにてサンディエゴ市民の動物愛護に対する考え方の原点を確認し、日本との大きな違いを認識する。公園内ノーリードでも安全に遊ぶことが出来るほどの飼主の意識の高さを体感し、日本でも実践出来ること、日本の文化に会わせて変化させながら実践していくことを直接感じることで、犬との関わり方、ドッグトレーナーのあり方を模索する。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修) 新任教職員に対して、以下の様々な研修を行う。① 専門学校の社会的な役割や本校の教育理念、② 学生に対する授業方法、③ 模擬授業を通じた指導力の向上、④ クラス運営における学生のカウンセリングや就職指導方法論、などを予定している。			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ペットアカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標		
(2) 学校運営	2 学校運営		
(3) 教育活動	3 教育活動		
(4) 学修成果	4 学修成果		
(5) 学生支援	5 学生支援		
(6) 教育環境	6 教育環境		
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集		
(8) 財務	9 財務		
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム		
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況 ・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるような体制に変更した ・実例として、「21世紀スキル」のような先駆けた人材像の具体的な提示があっても良いという指摘から、ドッグトレーナーの新たな役割として飼主様と愛犬との幸せな生活をトータルプロデュースできるよう、ペットツーリズムの授業を取り入れ、愛犬同伴での遊び方から外出時の注意点まで幅広くアドバイスが出来るドッグライフコンシェルジュの育成を目標とした。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
安倍 徹	アン・ランゲージ・スクール 校長/元静岡県教育長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校運営協力企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等の委員
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームページ URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/information/">https://www.rap.ac.jp/information/</a> 公開時期: 3月末を目途に公表			
5. 「企業等との連携及び協力の推進のため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)		
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)		
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)		
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)		
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)		
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)		
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)		
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)		
(10) 国際連携の状況	—		
(11) その他	—		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 情報提供方法 ホームページにて情報提供 URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/">https://www.rap.ac.jp/</a>			

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）ドッグトレーニング・ウェルネス科 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			人と動物の関係学Ⅰ	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	1通	15		○			○			○	
○			パピーケア概論	社会化期にある子犬のしつけトレーニングの重要性を理解し、適切な管理方法と正しいしつけ方を学習する。	1前	11		○			○			○	
○			老犬ケア論	老齢期の犬に必要な飼育管理方法を理解し、老犬ケアを身につける。	1後	16		○			○			○	
○			ホリスティックケア論	ハーブやパッチフラワーレメディーなど、自然治癒力を高める、心身双方の日常的なケアについての理解を深める。	1前	11		○			○			○	
○			ドッグスポーツ学	家庭犬トレーニングの応用として、様々なドッグスポーツの競技者層やルール、トレーニング方法を理解する。	1通	27		○			○			○	
○			犬猫飼育学	犬猫の生理生体や管理方法を学び、飼い主に伝える正しい飼育管理・飼育方法を理解する。	1前	22		○			○			○	
○			動物看護学(公衆衛生・解剖生理)	犬猫の感染症、感染経路、予防法を理解すると共に、身体の構造、筋骨格・呼吸器・消化器・循環器・泌尿器・内分泌系の機能を理解する。	1通	27		○			○			○	
○			飼養管理士総論	動物関連の法規について理解を深め、個体に合った適正飼育を飼い主に指導できる愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。	1通	54		○			○			○	
○			リハビリフィットネス概論	動物のリハビリテーションの歴史と現状を知り、犬のウェルネスケアできる管理の重要性を理解する。	1通	27		○			○			○	
○			ペット栄養学	5大栄養素の役割を理解し、身体に作用する仕組みを理解する。	1通	27		○			○			○	
○			犬猫の病気	犬猫のかかりやすい病気や予防法・ワクチンについて学び、ペットショップ・動物病院で働く知識を身につける。	1通	27		○			○			○	
○			健康指導学Ⅰ	犬の遺伝的な病気や障害、純血種の正しい姿形を理解し、犬を観る眼を持つことができる。	1後	16		○			○			○	
○			ペットショップ学	ペットショップで販売されるフード・用品・熱帯魚について学び、ショップでの飼育・お客様へのアドバイスができる。	1後	16		○			○			○	○
○			ドッグウォーク・ハンドリング実習	オビディエンスを始めとしたドッグトレーニングの基礎技術を習得し、犬に合図を教えられる。お散歩時の犬のコントロールや運動方法の理解、ハンドリングができる。	1通	54					○	○			○
○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬のモチベーションをコントロールし、正の強化・負の罰を主としたトレーニング技術が習得できることを目指す。	1通	81					○	○			○
○			動物看護実習	動物病院で必要とされる動物病院スタッフの役割を理解し、消毒・滅菌・保定・診察業務全般スキルの習得を目指す。	1通	81					○	○			○
○			グルーミング実習	犬のグルーミングに関する知識と技術を学び、コミュニケーション力とグルーミング技術の習得を目指す。	1通	81					○	○			○
○			動物飼育実習Ⅰ	ペットショップ店員として必要な、犬・猫・ウサギ・モルモット・ハムスター・インコの適切な飼育方法を理解習得する。	1通	54					○	○			○
○			浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	1後	6					○	○			○
○			ビジネス接客マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができることを目指す。	1通	54		○			○			○	
○			コンピュータ実習Ⅰ	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用する事が出来るようにする。	1通	54					○	○			○
○			スマイルコミュニケーション	人前で運動・食事・しつけ指導を行っている最中でも、笑顔で楽しく実技を行うことができる。	1後	16					○	○			○
○			就職実務Ⅰ	トイレ実習室・HR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな清掃ができる。	1通	16		○			○				○

○	清掃 I	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	1通	27				○	○	○		
○	挨拶 I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、目指す職種を明確にす	1後	27				○	○	○		
○	動物関連施設実習	最先端動物関連施設視察研修を行い、業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	特別	30				○		○		
○	人と動物の関係学 I	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	2通	6				○		○		○
○	動物行動学	動物の学習の仕組みや条件付け学習を習得し、犬の行動を理論的に理解する。	2通	11				○		○		○
○	健康指導学 II	犬種ごとの特徴や遺伝性疾患と、疾患別の食事管理などを理解する。	2通	21				○		○		○
○	老犬トレーニング	高齢期の犬に必要なトレーニングや飼育管理方法を理解し、老犬ケアを身につける。	2通	21				○		○		○
○	動物看護学(寄生虫・産科繁殖)	動物看護の視点から繁殖を学ぶと共に、内外部寄生虫についての分類と予防法を理解する。	2通	21				○		○		○
○	犬種学・猫種学	それぞれの猫種の特徴や注意点、遺伝性疾患を理解する。	2通	21				○		○		○
○	リハビリ・フィットネス実習	プールやバランスボールなどを使った、リハビリ・フィットネスの技術の習得を目指す。	2通	42					○	○		○
○	トレーニング実習 II	1年次のトレーニング実習を応用し、自発的な行動を引き出すトレーニング方法の習得と問題行動対処法を理解する。	2通	105					○	○		○
○	動物看護実習	動物病院における実務を理解し、動物看護師として働く際の補助作業を実践的に学ぶ。	2通	42					○	○		○
○	グルーミング実習	ペットショップ店員や動物病院スタッフとして求められるグルーミング技術を習得し、就職活動に役立てる。	2通	63					○	○		○
○	ドッグスポーツ・ハンドリング実習	様々なドッグスポーツを犬に教えることで、犬の個性を掴み、ハンドリング力の向上を目指す。	2通	42					○	○		○
○	浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	2通	6					○		○	○
○	動物飼育実習 II	動物の世話を1年生に指導することで、実践力と応用力、また正確性と迅速性を身につける。	2前	20					○	○		○
○	一般犬トレーニング実習	一般の飼い主様から犬をお借りし、一般家庭犬のトレーニング方法や飼い主様への対応を習得し、実践力を身につける。	2通	105					○	○		○
○	ペット栄養実習	ペットに必要な栄養素や食餌管理を学び、栄養指導の実践力を身につける。	2通	30					○	○		○
○	ペットツーリズム	ペットを連れて外出に、必要となる知識や技術を理解する。	2通	33					○		○	○
○	海外授業	海外最先端のウェルネスケアを学び、日本流ペットケアの在り方や日本のペット業界の未来を考える。	2後	30					○		○	
○	インターンシップ	希望職種へのインターンシップを通して、プロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。	2前	200					○		○	
○	ビジネスコミュニケーション	インターンシップ先(2年生は就職先)で必要なる社会ビジネス常識を身につけ、サービス接客検定3級に合格できる。	2前	10					○		○	○
○	接客ロールプレイ・飼主カウンセリング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングができる。	2後	11					○	○		○
○	スマイルコミュニケーション II	人前で運動・食事・しつけ指導を行っている最中でも、笑顔で楽しく実技を行うことができる。	2前	10					○	○		○
○	卒業研究	卒業研究を通して、専門性や自身の強みを深化し、就職先で求められるものを、学内実践して身につけられる。	2後	11					○		○	○
○	就職実務 II	就職活動の本格化と早期内定に向けて、履歴書作成・社会保障の理解、面接対策を行う。	2前	10					○		○	○
○	清掃 II	トイレ・実習室・HR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな清掃ができる。	2通	21					○	○		○
○	挨拶 II	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	2通	21					○	○		○
○	実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。	2後	150					○	○		○
合計			52科目		1940単位時間( 単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
専門学校ルネサンス・ベイト・アカデミー	平成21年3月25日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	動物海洋飼育・アクアリウム科	平成27年文部科学省告示 号外第36号	-																							
学科の目的	幅広い知識をお客様と動物たちに還元し、自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員を育成する。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
	2年	1938時間	424時間	0時間	1514時間	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
80人	79人	0人	3人	17人	20人																						
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																						
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級条件		卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業 ほか ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 動物園・生産牧場・ペットショップ など ■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施 ■卒業者数 : 33 人 ■就職希望者数 : 33 人 ■就職者数 : 33 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : 100 % (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>33名</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>スクーパライセンス</td> <td>③</td> <td>11名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	愛玩動物飼養管理士2級	③	33名	33名	スクーパライセンス	③	11名	11名								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
愛玩動物飼養管理士2級	③	33名	33名																								
スクーパライセンス	③	11名	11名																								
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者72名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者72名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2016年10月12日実施																										
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/rear/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。



1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。</li> <li>・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。</li> <li>・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。</li> </ul>			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
<p>委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。</p>			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
中野 勤次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
田中 克己	学校法人爽青会 顧問	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
木俣 新	木俣動物病院 院長/専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 顧問	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
藤田 暁世	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
水嶋 八千代	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
早房 陽	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
松村 綾美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
石橋 祐衣	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
長瀬 加津也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
祐植 紗織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
堀内 真充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
山口 光子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
吉村 徳裕	あいち動物病院 院長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
根岸 香緒里	日本動物高度医療センター 看護師	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
横田 友子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム課長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
飯田 奈美子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム係長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
神宮 和晃	ドッグサロンソルト&ペッパー 代表	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
今西 孝二	国際動物専門学校 部長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	②
島田 真衣	グリーンドッグ グルーミング統括マネージャー	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
左向 敏紀	日本ペット栄養学会 会長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	①
千葉 路子	ジャパン・ケイナイン・ハイドロセラピー協会 代表	2017/4/1~2018/3/31(1年)	①
齋藤 富士雄	豊橋総合動物公園 アドバイザー	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
加藤 修	浜名湖体験学習施設ウオット 館長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
<p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれかに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
教育課程編成委員会は8月および1月の年2回開催する。			
(開催日時)			
第1回 平成28年8月22日 13:30~15:50			
第2回 平成29年1月24日 12:00~16:30			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業に対して疑問を持つ事、改善しようとする意識を持つ事などを期待されている。・授業改善にて考える機会を与えた</li> <li>・長く続ける為に憧れる人を見つけ、自分を奮い立たせる工夫が必要。・卒業生講義と座談会の実施</li> </ul>			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
<p>学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識をお客様と動物たちに還元し自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員の育成のため、インターンシップや選考実習において必要な立居振る舞い、基本的な動物の専門知識を実践から学ぶ。</li> <li>・自分自身が「動物好き」という立場から、動物とお客様を満足させる「プロ」の立場へ意識の転換を図る。</li> <li>・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に柔軟な発想を持って、自分の言動やコミュニケーションツールを変化させる事を実践する。</li> </ul>			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容			
<p>学外演習の授業は、学生たちが飼育現場に公共交通機関を利用して直接出向き、施設見学に留まらず、スタッフしか入りできないバックヤードの見学も実施させて頂く。その際に、現場の飼育員のみならず園長・館長・学芸員・獣医・卒業生等様々な立場の職員から話を伺い、業界の求める人材像の把握に努める。評価表を現場の担当者に渡した上で実作業やガイドを実施し、その際に感じた印象やアドバイスを学生に直接フィードバックしている。</p>			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
学外演習Ⅰ	施設見学と現場のスタッフの講義等を通して業界と求める飼育員像を理解できる。	パロミノポニークラブ 等	
コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付け、Word3級に合格する。	株式会社遠鉄システムサービス	
プレゼンテーショントレーニングⅠ・Ⅱ	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	株式会社浜松ビジネススクール	
アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	オハナハウス	
学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	佐藤牧場 等	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。			
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 12月19日に開催された中部動物園若手勉強会が主催する勉強会に職員が2名参加。日本全国の動物園や水族館等の飼育技師が100名程集まる研修会に参加し、現場での悩みや課題を共有した。普段は役員との対談が多い中、熱意ある現場の職員が何を求めているかを学び、学科のあるべき姿を確認した。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森浩志様) 2017年6月3日～2018年2月23日まで全9回に渡り、係長・主任を対象に実施。対話と内省を基本に、クラス運営から組織の中で役割まで、どのようにリーダーシップを発揮すればより良い運営が出来るかをワークショップを交えながら学んだ。			
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・ペンギン会議全国大会(2019年初旬開催予定) 日本動物園水族館協会の後援で毎年開催される全国会議。ペンギンに関する基調講演、各種研究・調査報告等の発表と、全国から集まる現役飼育員や飼育関係者との意見交換が行われる。当科職員1名参加予定。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修) 新任教員に対して、以下の様々な研修を行う。①専門学校の社会的な役割や本校の教育理念、②学生に対する授業方法、③模擬授業を通じた指導力の向上、④クラス運営における学生のカウンセリングや就職指導方法論、などを予定している。			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベッティアカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標		
(2) 学校運営	2 学校運営		
(3) 教育活動	3 教育活動		
(4) 学修成果	4 学修成果		
(5) 学生支援	5 学生支援		
(6) 教育環境	6 教育環境		
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集		
(8) 財務	9 財務		
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム		
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況 ・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるような体制に変更した。 ・実例として、卒業後の増強把握は学校経営・後輩学生にとって重要なデータとなることをご指摘を頂き、インターンシップ訪問、または学外実習での動物園・水族館訪問にて、出来る限り卒業生との接触を図り、現状を把握することを強化した。学校との良好な関係性は強化され、卒業年度を超えて卒業生同士の集まりが開催され、状況報告の場が定期的に開催されるようになってきた。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
安倍 徹	アン・ランゲージ・スクール 校長/元静岡県教育長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校運営協力 企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience)Shizuoka 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等の委員
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームページ URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/information/">https://www.rap.ac.jp/information/</a> 公開時期: 3月末を目途に公表			
5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)		
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)		
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)		
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)		
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)		
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)		
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)		
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)		
(10) 国際連携の状況	—		
(11) その他	—		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 情報提供方法 ホームページにて情報提供 URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/">https://www.rap.ac.jp/</a>			

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物海洋飼育・アクアリウム科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			人と動物の関係学Ⅰ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1通	15	○			○		○		
○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1通	54	○			○		○		
○			公衆衛生学	微生物の基礎知識と、消毒・滅菌等の衛生管理を学び、感染に対して正しい説明ができる。	1前	11	○			○		○		
○			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1前	22	○			○		○		
○			動物栄養学	犬猫に必要な栄養素や知識、適切な食餌管理について正しい説明ができる。	1前	11	○			○		○		
○			動物行動学	動物の行動原理や専門用語を理解し、正しい説明ができる。	1後	16	○			○				
○			両生類・爬虫類学	ペットショップなどで管理する、爬虫類・両生類の生体管理や紹介ができる。	1前	12	○			○			○	
○			生態環境学	野生下での動物の暮らしを理解し、未知の動物でも推定し紹介ができる。	1前	15	○			○		○		
○			鳥類学	野生下やペットショップなどで管理する、鳥類等の紹介や管理ができる。	1後	16	○			○			○	
○			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1前	22	○			○		○		
○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(動物園・水族館等)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	特別	30				○		○	○	
○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物(イヌ・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎ができる。	1通	81				○	○		○	
○			アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	1前	22				○	○			○
○			動物看護実習Ⅰ	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進める事ができる。	1前	22				○	○			○
○			飼育実習 陸Ⅰ	学校飼育動物(チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・カメ・ヘビ・トカゲなど)を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	97				○	○		○	
○			飼育実習 水Ⅰ	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	97				○	○		○	
○			学外演習Ⅰ	施設見学と現場のスタッフの講義等を通して業界と飼育員像を理解できる。	1後	56				○	○		○	○
○			飼育員実習	飼育員目線としての施設利用の広がりを知り、飼育員像の理解を深める。	1後	56				○	○		○	
	○		【選択】畜産学実習	家畜や家禽などの産業動物の生態や管理の実態を理解できる。	1後	48				○	○		○	
	○		【選択】ダイビング実習	潜水における基礎知識と技術を学び、潜水士資格の取得をする。	1後	48				○	○		○	
○			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付け、Word3級に合格する。	1通	54				○	○		○	○
○			プレゼンテーショントレーニングⅠ	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	1通	54				○	○		○	○
○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27				○	○		○	
○			掃除Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27				○	○		○	
○			就職実務Ⅰ	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1後	16				○	○		○	
○			一般常識Ⅰ	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1後	16				○	○		○	
○			LHR	学校行事のスケジュール管理・就職活動管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1前	11				○	○		○	

○		人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	6	○		○	○											
○		動物の病気	看護師の視点でコンパニオアニマルの代表的な病気を正しく説明できる。	2後	11	○		○	○											
○		パピーケア概論	しつけや健康管理、ワクチン接種など子犬期の飼育管理について正しく説明できる。	2前	10	○		○	○											
○		解剖生理学	犬猫だけでなく、動物の体の構造や機能に関する共通点・相違点などを正しく説明できる。	2後	11	○		○	○											
○		動物福祉学	動物業界で働く上で重要な法律や愛護について学び、プロとして業務、倫理観などを学ぶ。	2後	11	○		○												○
○		産科繁殖学	繁殖についての動物の内部変化や管理者の注意点などを体系的知識として学び、正しく説明できる。	2後	11	○		○	○											
○		レアペット学	ペットショップなどで管理するめずらしい動物の生体や管理方法について正しく説明できる。	2前	12	○		○												○
○		水草管理学	基本的な水草の種類と管理方法を学び、水槽内でのレイアウトや環境を維持できる。	特別	11	○		○	○											
○		ペットショップ実務	動物看護の視点からみた繁殖についての体系的知識を学ぶ。	2後	22	○		○												○
○		動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2通	21	○		○	○											
○		動物飼育実習Ⅱ	1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2前	30			○	○											
○		アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2通	32			○	○											○
○		動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2後	22			○	○											○
○		グルーミング実習Ⅱ	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り組む事ができる。	2後	16			○	○											○
○		コンペ実習	競う事で克己心を育み、課題の質の高め合いを実践する事ができる。	2前	28			○	○											
○		飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2通	78.5			○	○											
○		飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2通	78.5			○	○											
○		学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	2前	35			○	○											○
○		環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学ぶ。	2後	22			○	○											○
	○	【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2前	20			○	○											○
	○	【選択】水族館展示学	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2前	20			○	○											○
	○	【選択】野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2前	15			○	○											○
	○	【選択】海洋哺乳類実習	海獣類の管理方法を学び、現場での作業の意図を理解し、正しく説明できる。	2前	15			○	○											○
	○	【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、動物を用いたふれあいを実践できる。	2後	22			○	○											○
	○	【選択】漁業・卸業実習	観賞魚や水族館の魚がどのように採集され、店舗、お客様へと届くのかを理解できる。	2後	22			○	○											○
○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2前	200			○	○											○
○		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2前	30			○	○											○
○		プレゼンテーショントレーニングⅡ	サービス接客検定3級の合格とプレゼンテーションの経験を重ね、自信ある発表ができる。	2通	42			○	○											○
○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21			○	○											○
○		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21			○	○											○
○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期予定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2前	10			○	○											○
○		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における突破を目指し一般教養試験での突破を目指す。	2前	10			○	○											○
○		LHR	学校行事のスケジュール管理・就職活動管理を通して、自己管理の習慣を身に付ける。	2前	10			○	○											○
○		卒業研究	2年間で学んだ内容からテーマを探り、論理的に研究・発表が出来る。	2後	11			○	○											○
○		実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2後	150			○	○											○
		合計			58科目	1938単位時間( 単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校ルネサンス・ベット・アカデミー	平成21年3月25日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	動物海洋飼育・アクアリウム科	平成27年文部科学省告示 号外第36号	-			
学科の目的	幅広い知識をお客様と動物たちに還元し、自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員を育成する。						
認定年月日	平成26年3月31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
	2年	1938時間	424時間	0時間	1514時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	79人	0人	3人	17人	20人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価		
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級条件		卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業 ほか ■サークル活動: 有		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 水族館・生産牧場・ペットショップ など		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)		
	■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施						
■卒業者数 : 33 人		■就職希望者数 : 33 人		■就職者数 : 33 人		■就職率 : 100 %	
■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %		■その他 : 100 %		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)							
中途退学の現状	■中途退学者 0 名		■中退率 0 %		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)		
	平成28年4月1日時点において、在学者72名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者72名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由		■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2016年10月12日実施						
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/rear/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
<p>・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。</p> <p>・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。</p> <p>・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。</p>			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
<p>委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残り、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。</p>			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
中野 勳次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
田中 克己	学校法人爽青会 顧問	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
木俣 新	木俣動物病院 院長/専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 顧問	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
藤田 暁生	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
水嶋 八千代	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
早房 陽	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
松村 綾美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
石橋 祐衣	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
長瀬 加津也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
祐植 紗織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
山口 光子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2017/4/1~2018/3/31(1年)	
吉村 徳裕	あいち動物病院 院長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
根岸 香緒里	日本動物高度医療センター 看護師	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
横田 友子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム課長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
飯田 奈美子	アニコムフロンティア 職業紹介チーム係長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
神宮 和晃	ドッグサロンソルト&ペッパー 代表	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
今西 孝一	国際動物専門学校 部長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	②
島田 真衣	グリーンドッグ グルーミング統括マネージャー	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
左向 敏紀	日本ペット栄養学会 会長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	①
千葉 路子	ジャパン・ケイナイン・ハイドロセラピー協会 代表	2017/4/1~2018/3/31(1年)	①
齋藤 富士雄	豊橋総合動物公園 アドバイザー	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
加藤 修	浜名湖体験学習施設ウオット 館長	2017/4/1~2018/3/31(1年)	③
<p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれかに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
教育課程編成委員会は8月および1月の年2回開催する。			
(開催日時)			
第1回 平成28年8月22日 13:30~15:50			
第2回 平成29年1月24日 12:00~16:30			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況			
<p>・作業に対して疑問を持つ事、改善しようとする意識を持つ事などを期待されている。・授業改善にて考える機会を与えた</p> <p>・長く続ける為に憧れる人を見つけ、自分を奮い立たせる工夫が必要。・卒業生講和座談会の実施</p>			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
<p>①学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する</p> <p>・「社会活動の諸問題を解決するコミュニケーションデザイナー育成」のため、クリエイティブの表現力をベースに、クライアントのニーズ聞き取り、問題の精査と解決プランの立案、コンセプト決定、実制作、プレゼンテーションを実践から学ぶ。</p> <p>・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に自分の言動を変えることを学ぶ。</p> <p>②好きな絵を描くことから、お客様の都合(納期、志向、予算、手法)に合わせたコミュニケーションツールを柔軟な発想から提案できる学生を育てる。実習においては進め方をクリエイティブ関連企業の常識に倣い、実践力を培う。</p>			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容			
<p>学外演習の授業は、学生たちが飼育現場に公共交通機関を利用して直接出向き、施設見学に留まらず、スタッフしか入りできないバックヤードの見学も実施させて頂く。その際に、現場の飼育員のみならず園長・館長・学芸員・獣医・卒業生等様々な立場の職員から話を伺い、業界の求める人材像の把握に努める。評価表を現場の担当者に渡した上で実作業やガイドを実施し、その際に感じた印象やアドバイスを学生に直接フィードバックしている。</p>			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
学外演習Ⅰ	施設見学と現場のスタッフの講義等を通して業界と求める飼育員像を理解できる。	竹島水族館 等	
コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付け、Word3級に合格する。	株式会社遠鉄システムサービス	
プレゼンテーショントレーニングⅠ・Ⅱ	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	株式会社浜松ビジネススクール	
アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	オハナハウス	
学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	株式会社インシグロ 等	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にを行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針			
就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。			
(2) 研修等の実績			
① 専攻分野における実務に関する研修等 12月19日に開催された中部動物園若手勉強会が主催する勉強会に職員が2名参加。日本全国の動物園や水族館等の飼育技師が100名程集まる研修会に参加し、現場での悩みや課題を共有した。普段は役員との対談が多い中、熱意ある現場の職員が何を求めているかを学び、学科のあるべき姿を確認した。			
② 指導力の修得・向上のための研修等 ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森浩志様) 2017年6月3日～2018年2月23日まで全9回に渡り、係長・主任を対象に実施。対話と内省を基本に、クラス運営から組織の中での役割まで、どのようにリーダーシップを発揮すればより良い運営が出来るかをワークショップを交えながら学んだ。			
(3) 研修等の計画			
① 専攻分野における実務に関する研修等 ・ベンギン会議全国大会(2019年初旬開催予定) 日本動物園水族館協会の後援で毎年開催される全国会議。ベンギンに関する基調講演、各種研究・調査報告等の発表と、全国から集まる現役飼育員や飼育関係者との意見交換が行われる。当科職員1名参加予定。			
② 指導力の修得・向上のための研修等 ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修) 新任教職員に対して、以下の様々な研修を行う。①専門学校の社会的な役割や本校の教育理念、②学生に対する授業方法、③模擬授業を通じた指導力の向上、④クラス運営における学生のカウンセリングや就職指導方法論、などを予定している。			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針			
就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベットのアカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標		
(2) 学校運営	2 学校運営		
(3) 教育活動	3 教育活動		
(4) 学修成果	4 学修成果		
(5) 学生支援	5 学生支援		
(6) 教育環境	6 教育環境		
(7) 学生の受け入れ募集	7 学生の受け入れ募集		
(8) 財務	9 財務		
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム		
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況			
・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるような体制に変更した ・実例として、卒業後の増強把握は学校経営・後輩学生にとって重要なデータとなることご指摘を頂き、インターンシップ訪問、または学外実習での動物園・水族館訪問にて、出来る限り卒業生との接触を図り、現状を把握することを強化した。学校との良好な関係性は強化され、卒業年度を超えて卒業生同士の集まりが開催され、状況報告の場が定期的に開催されるようになってきた。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成30年3月26日現在			
名前	所属	任期	種別
安倍 徹	アン・ランゲージ・スクール 校長/元静岡県教育長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校運営協力 企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience)Shizuoka 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等の委員
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期			
ホームページ URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/information/">https://www.rap.ac.jp/information/</a> 公開時期:3月末を目途に公表			
5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針			
在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供・収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)		
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)		
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)		
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)		
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)		
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)		
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)		
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)		
(10) 国際連携の状況	—		
(11) その他	—		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 情報提供方法			
ホームページにて情報提供 URL: <a href="https://www.rap.ac.jp/">https://www.rap.ac.jp/</a>			

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物海洋飼育・アクアリウム科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			人と動物の関係学Ⅰ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1通	15	○				○			
○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1通	54	○			○		○		
○			公衆衛生学	微生物の基礎知識と、消毒・滅菌等の衛生管理を学び、感染に対して正しい説明ができる。	1前	11	○			○		○		
○			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1前	22	○			○		○		
○			動物栄養学	犬猫に必要な栄養素や知識、適切な食餌管理について正しい説明ができる。	1前	11	○			○		○		
○			動物行動学	動物の行動原理や専門用語を理解し、正しい説明ができる。	1後	16	○			○				
○			両生類・爬虫類学	ペットショップなどで管理する、爬虫類・両生類の生体管理や紹介ができる。	1前	12	○			○			○	
○			生態環境学	野生下での動物の暮らしを理解し、未知の動物でも推定し紹介ができる。	1前	15	○			○		○		
○			鳥類学	野生下やペットショップなどで管理する、鳥類等の紹介や管理ができる。	1後	16	○			○			○	
○			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1前	22	○			○		○		
○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(動物園・水族館等)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	特別	30				○		○	○	
○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物(イヌ・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎ができる。	1通	81				○	○	○		
○			アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	1前	22				○	○			○
○			動物看護実習Ⅰ	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進める事ができる。	1前	22				○	○			○
○			飼育実習 陸Ⅰ	学校飼育動物(チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・カメ・ヘビ・トカゲなど)を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	97				○	○	○		
○			飼育実習 水Ⅰ	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	97				○	○	○		
○			学外演習Ⅰ	施設見学と現場のスタッフの講義等を通して業界と飼育員像を理解できる。	1後	56				○	○	○		○
○			飼育員実習	飼育員目線としての施設利用の広がりを知り、飼育員像の理解を深める。	1後	56				○	○	○		
	○		【選択】畜産学実習	家畜や家禽などの産業動物の生態や管理の実態を理解できる。	1後	48				○	○		○	
	○		【選択】ダイビング実習	潜水における基礎知識と技術を学び、潜水士資格の取得をする。	1後	48				○	○	○		○
○			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付け、Word3級に合格する。	1通	54				○	○		○	○
○			プレゼンテーショントレーニングⅠ	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	1通	54				○	○		○	○
○			挨拶Ⅰ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27				○	○		○	
○			掃除Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27				○	○		○	
○			就職実務Ⅰ	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1後	16				○		○		
○			一般常識Ⅰ	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1後	16				○		○		
○			LHR	学校行事のスケジュール管理・就職活動管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1前	11				○		○		



○		人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	6	○		○	○											
○		動物の病気	看護師の視点でコンパニオアニマルの代表的な病気を正しく説明できる。	2後	11	○		○	○											
○		パピーケア概論	しつけや健康管理、ワクチン接種など子犬期の飼育管理について正しく説明できる。	2前	10	○		○	○											
○		解剖生理学	犬猫だけでなく、動物の体の構造や機能に関する共通点・相違点などを正しく説明できる。	2後	11	○		○	○											
○		動物福祉学	動物業界で働く上で重要な法律や愛護について学び、プロとして業務、倫理観などを学ぶ。	2後	11	○		○												○
○		産科繁殖学	繁殖についての動物の内部変化や管理者の注意点などを体系的知識として学び、正しく説明できる。	2後	11	○		○	○											
○		レアペット学	ペットショップなどで管理するめずらしい動物の生体や管理方法について正しく説明できる。	2前	12	○		○												○
○		水草管理学	基本的な水草の種類と管理方法を学び、水槽内でのレイアウトや環境を維持できる。	特別	11	○		○	○											
○		ペットショップ実務	動物看護の視点からみた繁殖についての体系的知識を学ぶ。	2後	22	○		○												○
○		動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2通	21	○		○	○											
○		動物飼育実習Ⅱ	1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2前	30			○	○											
○		アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2通	32			○	○											○
○		動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2後	22			○	○											○
○		グルーミング実習Ⅱ	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り組む事ができる。	2後	16			○	○											○
○		コンペ実習	競う事で克己心を育み、課題の質の高め合いを実践する事ができる。	2前	28			○	○											
○		飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2通	78.5			○	○											
○		飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2通	78.5			○	○											
○		学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	2前	35			○	○											○
○		環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学ぶ。	2後	22			○	○											○
○	○	【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2前	20	○		○	○											○
○	○	【選択】水族館展示学	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2前	20	○		○	○											○
○	○	【選択】野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2前	15			○	○											○
○	○	【選択】海洋哺乳類実習	海獣類の管理方法を学び、現場での作業の意図を理解し、正しく説明できる。	2前	15			○	○											○
○	○	【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、動物を用いたふれあいを実践できる。	2後	22			○	○											○
○	○	【選択】漁業・卸業実習	観賞魚や水族館の魚がどのように採集され、店舗、お客様へと届くのかを理解できる。	2後	22			○	○											○
○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2前	200			○	○											○
○		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2前	30			○	○											○
○		プレゼンテーショントレーニングⅡ	サービス接客検定3級の合格とプレゼンテーションの経験を重ね、自信ある発表ができる。	2通	42			○	○											○
○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21			○	○											○
○		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21			○	○											○
○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期予定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2前	10	○		○	○											○
○		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における突破を目指し一般教養試験での突破を目指す。	2前	10	○		○	○											○
○		LHR	学校行事のスケジュール管理・就職活動管理を通して、自己管理の習慣を身に付ける。	2前	10	○		○	○											○
○		卒業研究	2年間で学んだ内容からテーマを探り、論理的に研究・発表が出来る。	2後	11	○		○	○											○
○		実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2後	150			○	○											○
合計					58科目	1938単位時間( 単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。